

令和3年度岩手県青少年育成県民会議事業実施状況

事業は、公益社団法人認可を受けた事業体系である「青少年育成支援事業（公益目的事業1）」、「自立と社会参加推進事業（公益目的事業2）」及び「家庭づくり・健全な環境づくり事業（公益目的事業3）」の3つに大きく区分しており、そのうち県民会議が独自に実施した事業については「法人事業」、県からの補助を受けて実施した事業については「県補助事業」、県から運営を受託している青少年活動交流センターの業務という形で実施した事業については「センター事業」と表記しています。

1 青少年育成支援事業（公益目的事業1）

青少年の健全育成の普及、啓発、助長を図るため、引き続き地域における青少年育成の中核である市町村民会議との連携を進めるほか、地域の青少年関係団体等における人材育成や活動に関する意見情報交換、青少年の健全育成に関する様々なデータについての情報発信を行うとともに、各団体、グループ、ボランティア等がそれぞれの地域で実施する活動の支援を行いました。

(1) 青少年育成セミナー（研修会、関係団体意見・情報交換会）《法人事業》

県民会議の事業運営等に対する要望の把握や事業連携方策の検討、様々な課題に関する意見情報交換や講演会の開催等を通じて、市町村民会議ほか青少年関係団体等との連携強化と育成活動の活性化を図りました。

① 研修会、関係団体意見・情報交換会

期 日：令和3年10月27日（水）

会 場：アイーナ5階 501会議室

参加者：34名（青少年団体、青少年育成団体及び市町村民会議、NPO等）

内 容：「子どもの心の成長を支えるーがまんする力、めげない強さー」

東洋大学 名誉教授 中原 美恵 氏

② 各市町村民会議、青少年関係団体等との意見交換・懇談会

期 日：令和3年5月～令和4年3月（随時）

団 体：北上市地域安全推進市民会議、矢巾町青少年健全育成町民会議、岩手県神社庁、
（3団体）

内 容：各地域に出向いての地域での青少年育成活動の実情と課題、市町村民会議及び青少年関係団体等との連携方策、県民会議の今後の在り方等に関する意見交換 等

(2) 青少年育成地域活動支援事業《法人事業》（※公益目的事業3「子どもと向き合う親の講座」と合わせて実施）

地域における青少年育成活動の推進及び親の世代の子育て意識や教育力の向上を図るため、地域で活動する団体が行う体験・交流・実践活動事業や家庭・地域ふれあい教育推進事業5件に対し助成（決定）しました（1件5万円以内）。

審査会の開催 令和3年7月9日（金） アイーナ6階 講師控室1・2

○ 助成対象団体：北っ子の会

・事業名：漁業体験・海洋スポーツ体験、自衛隊見学

・日 時：令和3年8月1日（日）～10月10日（日）

・場 所：山田湾内、航空自衛隊山田分屯基地

・参加人数：漁業体験・海洋スポーツ体験40名、自衛隊見学17名 合計57名

・内 容：養殖いかだで漁業体験、バナナボート、シーカヤック等の海洋性スポーツ実施、
片道4キロの整備された山道のウォーキング及び自衛隊施設見学

・助成額：46,474円

○ 助成対象団体：何でもやろう会

・事業名：チャレンジしよう！「ボランティア活動」

- ・日 時：令和3年11月6日（土）～12月19日（日）
 - ・場 所：盛岡市見前南地区公民館、りんご園
 - ・参加人数：盛岡南高校生徒26名、地域の方々5名 合計31名
 - ・内 容：講話「ボランティアって何だろう?」、りんご農家の収穫の手伝い、点字・手話の体験
 - ・助成額：40,000円
- 助成対象団体：宮古第二中学校 PTA
- ・事業名：親子でふれあう環境整備・資源回収仕分け作業
 - ・日 時：令和3年11月6日（土）
 - ・場 所：宮古第二中学校校舎及び校庭、学校周辺
 - ・参加人数：1～3年生65名、保護者60名、教職員15名、地域住民3名 合計143名
 - ・内 容：環境整備ポスター作り、木の剪定・草刈り、木の剪定後の処分運搬（学校校庭）窓ふき・サッシ掃除（校舎）等
 - ・助成額：46,603円
- 助成対象団体：山田愛信館柔道スポーツ少年団
- ・事業名：チャレンジ・ザ・オランダ島
 - ・日 時：令和3年8月8日（日）
 - ・場 所：山田町 B&G 海洋センター艇庫前
 - ・参加人数：山田愛信館柔道スポーツ少年団、山田中学校柔道及びその保護者等 約41名
 - ・内 容：オランダ島砂浜のごみ拾い、親子でロープワーク、海洋性スポーツ（カヌー・サップ・バナナボート）の体験を実施
 - ・助成額：32,551円
- 助成対象団体：PLELL
- ・事業名：こども謎解き体験「ナゾトキヒミツキチ！」
 - ・日 時：令和4年1月10日（月）
 - ・場 所：アイーナ 団体活動室
 - ・参加人数：小学3年生～6年生 20名
 - ・内 容：「謎解き」をテーマにしたワークショップ
 - ・助成額：50,000円

(3) 青少年育成指導者研修事業《法人事業》

市町村民会議会員、青少年育成指導者等の指導・育成能力の向上や青少年の育成支援活動の活発化を図るため、内閣府主催の研修会等に関係者の派遣（オンライン参加）を行いました。

- ① 子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業 北海道・東北ブロック研修会(オンライン)
 - ・期 日：令和3年9月2日（木）
 - ・参加者：1名
- ② 「子ども・若者総合相談センター機能向上のための会合（オンライン）」
 - ・期 日：令和3年11月15日（月）・11月16日（火）
 - ・参加者：1名
- ③ 子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業 中央研修大会(オンライン)
 - ・期 日：令和3年11月29日（月）・11月30日（火）
 - ・参加者：2名
- ④ 相談業務研修（オンライン）
 - ・期 日：令和3年12月9日（木）・12月10日（金）・12月15日（水）・12月16日（木）・12月17日（金）
 - ・参加者：2名

(4) 青少年育成講師等派遣事業《法人事業》(募集期間1月末)

地域における青少年育成活動の活性化を図るとともに、家庭や地域の教育力の向上に資するため、青少年育成支援活動に関わる実践者や活動家などの幅広い分野の人材を名簿に登録して、地域で活動する団体・グループが行う研修会・講演会に対し講師派遣の支援を行いました。

- 支援内容：講師登録者数：18名、1団体（うち新規登録1名）
派遣実績：1回1名（宮古市立田老第一小学校）

(5) 青少年育成貢献団体・貢献者表彰事業《法人事業》

優れた活動を行っている青少年、青少年育成指導者、青少年団体・グループ及び青少年育成団体等を広く顕彰するため、会員団体及び市町村から推薦を受け、令和4年2月に選考委員会を開催し、青少年育成指導者を表彰対象者として決定しました。また、結成55年目に当たる今年度、5年ごとの周年表彰として県民会議功労者3団体、個人8名について、選考委員会において感謝状対象者として決定しました。

表彰は、次年度の通常総会（令和4年6月）の席上で行います。（予定）

区分		氏名（所属）	市町村
個人	青少年育成指導者	佐々木 盛夫（日本ボーイスカウト岩手連盟）	盛岡市
個人	青少年育成指導者	古館 昌三（宮古市少年センター）	宮古市

区分	氏名	所属	
功労者感謝状	県民会議役職員	澤野 桂子	(一社)岩手県私学協会副会長、 岩手県エイズ対策推進協議会委員
		平井 ふみ子	ガールスカウト岩手県連盟前連盟長、顧問 前岩手県青少年問題協議会会長
		小苺米 淳一	(株)ジョイス元代表取締役社長、岩手県万引防止対策協議会前会長
		工藤 重信	税理士
		三浦 保治	岩手県子ども会育成会連合会会長
	県民会議賛助会員	富士モーターサービス	いわて希望塾参加者送迎
	県民会議貢献者	シニアものづくり隊	いわて親子フェスティバル協力団体
		シェアピース	〃
		馬場 久美子	登録ボランティア
		足利 結花	〃
	佐藤 玲香	〃	

(6) 青少年ボランティア活動促進事業 《法人事業・センター事業》

年間を通じ青少年ボランティアを募集し、センターのボランティアスタッフとして登録して、希望塾の青年サポーター（中止）やセンター事業でのボランティアとして活動してもらうとともに、ボランティア登録者に対し、事業を通じたボランティアに関する研修の実施や、相互に交流・学習する場を設けること等により、ボランティアの育成とその活動の活発化を促進しています。

ア 事業を通じたボランティアに関する研修の実施

センター事業へのボランティア参加者が、事業の企画段階から参画するとともに、相互に交流する機会を設けることにより、ボランティア活動の活性化を促進しました。

- ・期 日：通 年
- ・内 容：いわて親子フェスティバル（「親子であそぼう！キッズラボ ミニ」として実施）のボランティア（146名）による企画会議（5回）及び実行委員会（1回）など、事業を通じた研修や交流を行い、ボランティア相互のネットワーク形成の機会を設けました。

- ・参加者：県内に在住する概ね 16 歳～30 歳の青少年、登録ボランティア（146 名）を含め延べ 470 名

イ ボランティア活動促進のための講座

体験イベントを通じボランティアが相互に交流・学習する講座を行いました。（1 回）

こどもの心をつかむわくわくワークショップ

期 日：令和 4 年 1 月 23 日（日）

会 場：矢巾町公民館 3 階大会議室

対象者：保育士・幼稚園教諭・小学校教諭、ボランティア等 44 名

内 容：第 1 部 くぼたまさとによるおとなのための研修会

講師：久保田 雅人 氏

第 2 部 こどもの心をひらくアイスブレイク講座

講師：盛岡大学短期大学部幼児教育科助教 及川 未希生 氏

(7) 青少年健全育成広報事業《法人事業・センター事業》

青少年活動交流センターにおける各種事業の実施や青少年の育成支援活動の先進的取組等に係る様々な情報について、広報紙やホームページ等により広報活動を行いました。

また、青少年に関わる様々なデータのほか、各種資料、報告書や論考等を加えて、青少年関係団体を始め広く県民に提供することを通じ、青少年健全育成運動の更なる活性化を図りました。

ア 一般広報事業

- ① 広報紙「青少年いわて」（11 月、3 月・各 1,800 部発行）
- ② インターネットによる広報（<http://www.aiina.jp/seishounen/>）
アクセス数 41,608 件 情報発信 180 日
ツイッターフォロワー 730 名 フェイスブック友達 146 名
- ③ リーフレット
青少年健全育成県民運動啓発用「いわて家庭の日」カレンダー電子版の配信
各市町村等 12 回（毎月 1 回）
- ④ 啓発活動 いわて家庭の日・相談室 PR カード、クリアファイル配布 1,000 部
- ⑤ 「わたしの主張岩手県大会」発表文集 780 部
- ⑥ 「つぶやき作品集」冊子 1,700 部

イ データベース事業（随時実施）

青少年に関わる情報について、県や市町村、青少年関係団体等が常に最新の情報を共有し、相互に連携のとれた事業展開がなされるよう、健全育成、保健福祉、教育、非行防止等の各部門がそれぞれ独自に保有する様々なデータや各種資料等を収集、整理・分類等を行い、青少年活動交流センターのホームページを通じて青少年の育成支援に関する情報の総合的な提供を行いました。

(8) 青少年調査・研究事業《法人事業》（随時実施）

青少年を巡る厳しい社会経済情勢が続く中、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の問題について、県においては、平成 28 年度に子ども・若者育成支援推進法に基づく地域協議会の設置や指定支援機関の指定を行い、平成 29 年 4 月には総合相談センターを設置するなど、支援体制の構築とその充実に取り組んでおり、そうした県の動向に応じて、今後の支援の在り方等について県外の先進地の研究を実施しました。

2 自立と社会参加推進事業（公益目的事業 2）

次代を担う青少年の自立と社会参加を促進するため、社会人としての基礎的能力や地域づくり等への意識・意欲の向上を図るための研修・講座等事業を開催するほか、社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者の自立や支援を進めるための方策等についての学習の機会を提供しました。

また、青少年やその家族等を対象とする「なやみ相談室」を運営し、青少年の自立を支援しました。

(1) わたしの主張岩手県大会《県補助事業》

次代を担う中学生が、未来に向けての夢や日常生活で感じたことなどについて発表する県大会を開催し、自らの主張を正しく理解してもらおう力を身に付けることや、地域社会との関わりについて考え、行動する契機とするほか、中学生の考えや行動に対する理解を深める機会としました。

期 日：令和3年9月15日（水）※作文・映像による審査会

会 場：岩手県庁8階8-L会議室

参加者：各地区代表者 17名（地区大会応募者 3,630名）

入賞者：最優秀賞1名 優秀賞2名 優良賞3名

※ 各地区代表者は会場へ参集せず、作文・映像での審査会として実施いたしました。最優秀賞受賞者は、全国大会で、努力賞を受賞。なお、今年度の全国大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、WEB開催に変更して実施されました。

区 分	発 表 題	学 校 名	学 年	氏 名
最優秀賞	挨拶	滝沢市立柳沢中学校	3年	高橋 美花
優秀賞	SHINE	八幡平市立西根中学校	3年	工藤 ほのか
	光	花巻市立花巻北中学校	3年	留場 優那
優良賞	ありのままの自分を受け入れて	盛岡市立下橋中学校	3年	林 美羽
	希望のある社会へ	奥州市立東水沢中学校	3年	藤代菜央
	弱いからこそ	釜石市立大平中学校	3年	菅原小雪

(2) いわて希望塾《センター事業》（計画変更）

例年実施していた「いわて希望塾」は、体験活動や交流活動を通じ、岩手の「地域づくり」を担う、心豊かで意欲に満ちた人材を育成することを目的に、2泊3日の日程で実施してきたところですが、感染症拡大により、昨年度に続き宿泊・交流事業は中止とし、岩手の良さや、将来の明るい未来について、考えを深めるきっかけとなるよう、「わたしの一押し・わたしが思う未来のいわて」つぶやきを募集しました。

募集期間：令和3年7月20日（火）～10月31日（日）

応募者数：819点

内 容：中学生が思う岩手の良いところ（わたしの一押し）や希望する岩手の姿（わたしが思う未来の岩手）について端的に表現したつぶやき（50字以内）を募集し、選考委員会（令和3年12月9日（木）開催）において優秀作品102点を選考しました。

(3) 青少年体験講座（「子どもの食事づくりワークショップ（クッキング）」）《センター事業》（中止）

小学生を主な対象とする講座において、調理など家事を手伝う積極性やマナーを学び、また、協力することの大切さや他者を思いやる心を養うため、「子どもの食事づくりワークショップ（クッキング）」をアイーナ指定管理者と共催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染を防止するため、中止としました。

(4) 国際交流シンポジウム（国際理解・協力推進事業）《センター事業》（中止）

国際的視野と国際協調の精神を身に付けた青少年を育成するため、県内に在住する外国青年（留学生等）をスピーカーとして各国の事情、生活文化の紹介や日本で暮らす印象などを語るフォーラム及び県内青少年との交流会を岩手県青年国際交流機構と共催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染を防止するため、中止としました。

(5) 情報メディア対応促進事業《センター事業》

青少年のインターネットやスマートフォン等の利用が増え、有害情報で被害を受けたり、ネット上の誹謗、中傷、いじめなど青少年の健全育成上様々な課題が生じていることから、情報機器の正しい利用について地域での主体的な取組を促進し、青少年の健全育成を推進しました。

また、情報メディアに関する相談や研修会開催についての相談にも応じました。

ア 情報メディア対応能力養成講座（4地域）

県内4地域において、青少年健全育成関係者や保護者を対象に、インターネット上の違法・有害な情報やネットの特性を利用した犯罪、モラルを逸脱した行為等により、青少年が被害者あるいは加害者になることを未然に防ぐため、ネットを巡る青少年の現状への理解を深め、情報メディアへの対応能力を養成するための講座を開催しました。

期 日： 県北地区（久慈市 11/24）、県央地区（盛岡市 11/30）、
県南地区（一関市 12/2）、沿岸地区（宮古市 12/7）

参加者：合計（4回）43名 オンライン配信視聴回数：136回

講 師：県民会議職員、岩手医科大学附属病院医師

イ 情報メディア「出前」講座

PTA関係者、保護者等からの要請に応じ、講師を派遣して、インターネットやスマートフォンを巡る青少年の現状への理解を深め、情報機器の正しく安全な利用が進むよう講座開催等に対する支援を行いました。（17回開催）

期 日：令和3年6月～11月

受講団体：小学校、中学校、高等学校、PTA、公民館等 延べ 1,823名

講 師：青少年活動交流センター職員

ウ 情報メディア対応機関連絡会議

情報メディア関係機関・団体等が相互に情報・意見交換を行い、最新の状況について共通認識を得るとともに、連携のとれた事業展開を行うことにより、相互の事業の効果的・効率的な推進を図ることを目的に実施しました。

期 日：令和3年5月27日（木）

会 場：県庁13階 P1-K会議室

参加機関・団体：7名（岩手県教育委員会事務局学校調整課、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課、県立生涯学習推進センター、県立総合教育センター、盛岡市少年センター、警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課）

(6) 社会生活に困難を有する子ども・若者支援推進事業《法人事業・センター事業》

社会生活を営む上での困難を有する子ども・若者の現状や社会的背景及び支援方策について幅広く学習するとともに、専門家による2回の連続講座（セミナー及びワークショップ）を開催し、今後における「子ども・若者支援」の推進の在り方等について理解と認識を深めました。

・参加者：青少年育成団体、市町村青少年担当者、学校、幼保園関係者等

合計（2回）177名（うちオンライン参加140名）

期 日	演 題	講 師	参加者
第1回 2月7日（月）	「子どもの問題を抱える家族への支援～不登校やひきこもりに着目して～」	岩手大学人文社会科学部 人間文化課程 教授 奥野 雅子氏	92名
第2回 2月14日（月）	体験型講座（ワークショップ） 子どもの問題を抱える家族のこころと行動を支える～支援者のためのコミュニケーションスキルトレーニング～	岩手大学人文社会科学部 人間文化課程 教授 奥野 雅子氏	85名

(7) 相談事業《センター事業》（通年実施）

平成29年4月に、相談室が子ども・若者育成支援推進法に基づく「子ども・若者総合相談センター」として位置づけられ、より多くの多様な相談が寄せられることから、これまで以上に相談員としての資質向上に努めるとともに、関係機関との連携強化を図りました。

ア 「青少年なやみ相談室」の運営

「青少年なやみ相談室」の相談員により、青少年の悩みや青少年活動に関する電話、面接又は

メールによる相談に対応しました。なお、「子ども・若者総合相談センター」として、「相談室」の幅広い周知と利用の促進に努めました。相談件数：728件

イ 青少年相談事例検討会の開催

各相談機関が有する相談事例の情報共有及び事例への対応の在り方を検討する機会を確保し、相談スキルの向上を図るとともに、相談機関相互の連携を強化し、問題を抱える子ども・若者への支援を更に進めるため、他機関の相談員等の参加による事例検討会を開催しました。

第1回（研修会）

期 日：令和3年11月8日（月）

会 場：アイーナ8階 804A会議室

参加者：80名（うちオンライン参加34名）（青少年団体、青少年育成団体及び市町村民会議、NPO等）

内 容：「孤立と虐待を生まない地域社会を目指して」

東北福祉大学総合福祉学部 准教授 平川 昌宏 氏

※講演のYouTubeによる配信（11月16日～12月28日、視聴回数76回）

第2回（模擬事例検討）

・期 日：令和4年2月8日（火）

・会 場：アイーナ8階 804B会議室

・参加者：15名（相談機関の相談関係者等）

・内 容：青少年に関する相談機関の相談事例検討

3 家庭づくり・健全な環境づくり事業（公益目的事業3）

青少年の健やかな成長の基盤である「家庭」の役割について、親等の認識・気付きを促し、親子のふれあい等、家庭の大切さを呼びかける啓発活動と実践活動への支援を行い、健全で明るい家庭づくり運動を推進しました。

また、青少年が非行や未成年者喫煙等に陥らないよう、健全育成の環境づくりを進めました。

(1) いわて親子・家庭フォーラム《センター事業》

青少年の健全な育成・成長に果たすべき第一義的な責任は、家庭・保護者にあり、子育てには家庭における対話やふれあいが重要であることを啓発するとともに、地域全体で子育てを行う機運を醸成することを目的とし、子育て、家庭教育、親子の対話等をテーマとする講話とディスカッション等で構成するセミナーを企画（中止）するとともに、アイーナ全体を会場として、館内の入居団体との共催及びボランティアの企画段階からの参加等により、親子や家族で楽しみ、体験し、ふれあいを深めるイベントを開催しました。

ア 子ども・家庭・地域に関する交流セミナー（中止）

「地域課題解決セミナーin 滝沢（共催：滝沢市）」として「発達障害の理解と支援に関する講演・ペアレントトレーニング演習」を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染を防止するため、中止としました。

イ いわて親子フェスティバル（アイーナ内入居団体との共催及びNPO・企業等の協力による）

当初9月20日（月・祝）アイーナにて開催を予定の「いわて親子フェスティバル」は、感染症拡大防止のため中止とし、同フェスティバルのコーナーを一部変更、工作セットを郵送によりプレゼントしたほか、「親子であそぼう！キッズラボ ミニ」を開催しました。

期 日：令和3年11月6日（土）・7日（日）

会 場：いわて県民交流情報センター（アイーナ）

参加者：親子418名、協力団体・出演者、青少年ボランティア105名

内 容：① SL乗車 等

② 親子で遊ぼう・親子で体験（親子で挑戦、親子で作る） 等

③ 「いわて家庭の日」 絵画・ポスターコンクール作品展 等

④ 親子で遊ぼう おうちキッズラボ「工作セットプレゼント」

運 営：会員団体や青少年ボランティアの企画運営への参画を図る。(企画会議5回、実行委員会1回)

(2) 「いわて家庭の日」普及拡大事業《法人事業・センター事業》

「いわて家庭の日」については、県民運動としての一層の普及・定着を図るため、県との連携を基本に、関係団体や協賛企業の協力も得ながら広報活動を実施するとともに、学校・PTAを通じた周知、事業所への浸透に取り組みました。

① 広報啓発活動 いわて家庭の日 PR クリアファイル配布 500部

② 会員団体、関係団体等の大会等でのチラシ配布、説明等(大会等に合わせて実施)

③ ホームページによる広報(通年) <https://www.aiina.jp/site/iwate-kateinohi/>

④ 電子版「いわて家庭の日」カレンダーによる広報(毎月)、協賛企業による広報協力(盛岡タイムス)、頒布品(ダイアリー、カレンダー)への掲載協力(㈱白ゆり、杜陵高速印刷㈱)等

⑤ 県及び県教委との「いわて家庭の日」普及啓発に関する協議、協力要請

⑥ 「いわて家庭の日」協賛企業募集等 盛岡商工会議所への協力要請

(3) 「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール《法人事業》

「いわて家庭の日」の取組の一環として、家庭への思いを深めるため、県内の児童・生徒を対象に、家族でどのような過ごし方をしたのか(わたしの思い出)等をテーマに絵画・ポスターを募集し、優秀作品を表彰しました。また、優秀作品は、アイーナ等で展示しました。

① 応募作品数：89作品(小学校59作品、中学校・高校30作品)

② 入賞作品 (10月19日選考委員会決定)

児童の部 最優秀賞1 優秀賞2 優良賞5 計 8作品

生徒の部 最優秀賞1 優秀賞1 優良賞2 計 4作品

児童の部

賞	画題	氏名	学校名
最優秀賞	つつるっ!かぞくでながしそめんをしたよ。	柏木 咲沙	洋野町立大野小学校1年
優秀賞	かぞくではな火を見たよ。	上野 空詩	洋野町立大野小学校1年
〃	おばあちゃんの野菜大好き	新渡戸千鶴	北上市立和賀東小学校5年
優良賞	逆立ちできるようになったよ。	新井 葵衣	二戸市立石切所小学校3年
〃	夏の思い出	佐藤 吉汰	大船渡市立越喜来小学校4年
〃	きれいな海と私の家族	大崎百々香	九戸村立長興寺小学校5年
〃	家族みんなで野菜の収穫!!	林 その美	九戸村立江刺家小学校6年
〃	家族で岩手山を見に行こう	工藤 千喜	岩泉町立有芸小学校6年

生徒の部

賞	画題	氏名	学校名
最優秀賞	一緒に食べよう	三部ひかり	岩手大学教育学部附属中学校2年
優秀賞	Let's カレーパーティー	藤田 若葉	岩手県立花巻北高等学校1年
優良賞	四人きょうだい	多田 早嬉	遠野市立遠野中学校2年
〃	家へ帰ろう	吉田 朱梨	奥州市立水沢中学校3年

③ 作品展

・ 令和3年10月15日(金)～31日(日) アイーナ6階ラウンジ

・ 令和3年11月11日(木)～21日(日) おでんせプラザぐろーぶ3階(北上市)

※ 北上市地域安全推進市民会議と共催により実施

④ 表彰式 令和3年11月21日(日) おでんせプラザぐろーぶ3階 第1学習室

(4) 子どもと向きあう親の講座《法人事業》(※公益目的事業1(2)「青少年育成地域活動支援事業」と合わせて実施)

家庭の役割を地域全体で再認識し、家庭の養育力、地域の教育力の向上を図るため、地域活動団体の行う講演などを共催し、費用の一部を助成するものです。

助成額：1件当たり5万円以内（予算の範囲内で決定）

(5) 親子ふれあい広場「観武ケ原まつり」《法人事業》（中止）

例年開催の「観武ケ原まつり」に関し、ボランティアの参加・協力を得ながら、実施協力予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染を防止するため、中止としました。

(6) 非行・被害防止県民大会の開催等

ア 青少年を非行・被害から守る県民大会《県補助事業》

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大による県民のリスクを抑えるため、参加者を最大100人と例年より縮小したほか、オンラインで動画配信をして開催しました。（「社会を明るくする運動岩手県推進委員会」との共催）

期 日：令和3年7月14日（水）

会 場：アイーナ 7階小田島組☆ほ～る

参加者：青少年育成関係者等 596名（集合、動画視聴含む）

動画配信期間：令和3年7月16日（金）～8月31日（火）

動画配信掲載場所：青少年活動交流センターホームページ

内 容：講演、宣言等

意見発表

令和2年度（第22回）わたしの主張岩手県大会 最優秀賞

「生き続ける」 岩手県立盛岡第三高等学校1年 鈴木 凜さん

作文発表

第70回“社会を明るくする運動” 作文コンテスト

社会を明るくする運動 岩手県推進委員会委員長賞

「気づいてあげられる優しさ」 盛岡市立城東中学校3年 山田 明希さん

講 演

演 題 「コロナ禍に関わらず、抱っこは“心の基地”である」

～子どもたちを非行・被害から守るために～

講 師 岩手県小児科医会会長 三浦 義孝 氏

イ 青少年の非行・被害防止県民運動の実施《法人事業》

「青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月1日～31日）」に呼応し、関係機関、団体や地域住民の相互協調、共通理解の下に、青少年の非行・被害の防止活動を進めました。

また、引き続き、「朝のあいさつ運動」「愛の一声運動」の推進を図るとともに、万引き防止対策に取り組み、関係機関・団体と協力して非行防止運動を推進しました。

ウ 未成年者喫煙防止及び薬物乱用防止等啓発活動の推進《法人事業》

関係機関・団体と提携を図りながら、ポスターの配布等啓発運動を推進しました。

(7) 災害復興支援事業《法人事業・センター事業》（中止）

東日本大震災の被災者支援、県民とアイーナの絆づくりを目的に、青年ボランティアの参加（売り子等）を得て、復興バザーをアイーナ入居の各センター連携事業として共催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染を防止するため、中止しました。

4 その他の事業（青少年育成器材貸出事業）《法人事業・センター事業》

青少年の活動や青少年育成事業に必要なとされる器材について関係団体の利用に供します。

① 視聴覚器材（ワイヤレスアンプ、スクリーン、ビデオプロジェクター 等）

② その他（紙芝居、ギター、ハンドメガホン、トランシーバー 等）

5 県民会議機関の運営

(1) 通常総会 ※表彰式の取止め、出席者の制限等規模縮小により開催

期 日：令和3年6月16日（水）

会 場：アイーナ8階 804-A 会議室

- 議 題：① 令和2年度事業報告について
② 令和2年度収支決算の承認について
③ 役員を選任について

(2) 理事会

ア 第1回

期 日：令和3年5月19日（水）

会 場：アイーナ8階 801号室

- 議 題：① 令和2年度事業報告及び収支決算の承認について
② 総会の日時、場所及び付議事項について
③ 役員候補者について
④ 会長等の職務の執行状況について
⑤ その他

イ 第2回

期 日：令和3年6月16日（水）

会 場：アイーナ8階 804-A 会議室

- 議 題：① 会長及び副会長の選定について
② 理事の順序について
③ その他

ウ 第3回

期 日：令和4年3月16日（水）

会 場：アイーナ8階 802 会議室

- 議 題：① 令和3年度事業実施状況について
② 令和3年度補正予算について
③ 令和4年度活動方針及び事業計画について
④ 令和4年度収支予算について
⑤ その他

(3) 三役会議

出席者：会長、副会長及び常務理事

期 日：令和4年3月4日（金）

会 場：アイーナ6階 講師控室1・2

- 議 題：① 令和3年度事業実施状況について
② 令和3年度補正予算について
③ 令和4年度活動方針及び事業計画について
④ 令和4年度収支予算について
⑤ その他